

北海道拓北養護学校



コミュニティ スクール
だより

第1号

令和6年9月6日
北海道拓北養護学校
学校運営協議会事務局

7月19日(金) 第1回学校運営協議会を実施しました

今年度は、学校運営協議会を実施して2年目となります。次の委員と事務局で進めてまいります。

学校運営協議会委員		事務局
菊池 健一 様	拓北興産社町内会会長	中川 雅人(副校長)
高橋くに子 様	NPO 法人自立支援センター歩歩路副理事長	諏訪 文重(事務長)
丸田 貴久 様	札幌協働福祉会アクティビティセンター施設長	藤原 裕美(教頭)
池田 千紗 様	北海道教育大学札幌校 准教授	永井 康義(主幹教諭)
永沼 秀美 様	北海道拓北養護学校 PTA 会長	杉本 茂(防災委員会)
仲條 正輝	北海道拓北養護学校 校長	高田 昌樹(キャリア支援部)
		村上 渉(教務部)
		佐伯 充基(研究部)

新たな事務局員も増え、自己紹介をして和やかにスタートしました。副校長、校長から次の内容を説明した後、御質問や御意見を伺い、熟議を進めていくことができました。



(委員の皆様)



主な説明

- 1 本校の学校運営協議会（コミュニティースクール）について（副校長）
- 2 令和6年度学校経営について（校長）
①学校重点目標、②授業改善充実、③防災体制、④地域連携

主な御意見や質問

1【学校重点目標に関する質疑応答】

- ・北肢研は保護者も見学することは可能か？
- ・学生は参加できるか？
→保護者、学生の参加について、他校とも検討してお知らせします。

2【授業改善充実に関する質疑応答】

- ・他の学校でも年に数回の研究授業の取り組みや公開授業は行われているのか。
→コロナ禍になって減少していると聞いている。オンラインなどで行っている取り組みもある。
- ・校内の授業研に、自立活動教諭は入っているのか。
→アドバイザーとして入っているが、授業自体には参加していない。
- ・中身がまだわからないところがあるが、いろんな取り組みを行おうとしている様子が見られるので、期待したい。

→授業略案の様式を変え、“授業の見どころ”を書くようにして、教員の狙いを明確に伝えるようにした。

- ・ゲストティーチャーの回数の制限などはないのか？

→特に設けていない。

- ・こちらから、『このようなことをやりたい』と提案することは可能か。(例：ブラックライトスヌーズレン)

→ぜひお願いしたい。

- ・ゲストティーチャーは無料ボランティアが原則か？

→そうです。

3【防災体制に関する質疑応答】

- ・(法人施設) 2階に避難するようにしていた。現在は地区センターなどに避難するように、実際に訓練も行っている。日々の訓練は必要と感じている。訓練の場合など、うちの法人としても御協力できる部分もあると思う。

- ・実際、災害が起きて停電になった時、医ケアの人たちなどが困ったと聞いている。学校や施設には発電できるものもあるだろうし、バスから電気を取ることもできることもあるので、地域に貢献していかなければと思っている。

- ・災害があった時、学校にどのような協力ができるか考えたことがなかったが、できることはあると思う。福祉事業所と学校との連携も考えていければよいのではないかな。

- ・胆振東部地震の際、避難場所に福祉事業所の職員が手伝いに行っていたが、日常的にかかわりがある人だったので、とてもスムーズだった。

- ・(学生ボランティアについて)声をかけていただければ協力できる部分もあると思う。教育実習中に何かあった時、学生たちが動けるように指導する必要があると、話を聞きながら考えた。

<校長>

- ・形通りの避難訓練だけでよいのかと考えている。実際に訓練を行い、生じた課題について取り組みを検証していくことも重要と考えている。訓練はぜひ見に来ていただきたい。

4【地域連携に関する質疑応答】

- ・12月に大学で遊び方の授業があり、大学に来ていただくよう案内していたがなかなか集まらなかった。その際、拓北養護に来るという方法もあると思う。

- ・私も娘と参加してとても良い内容でいろいろな人を誘うが、時間と場所の問題であまり参加者が増えなかった。学校で行うとなれば、参加も増えると思う。

→ぜひお願いしたい。

次回(12月)に向けて

- ・今年は、学習発表会、拓養祭や、卒業式などに運営協議会委員の皆さんにも御観覧の御案内をしたいと考えているので、御予定を開けておいていただければありがたい。
- ・まずは避難訓練の際に色々とお力添えをいただきたい。2回目の運営協議会の際にまた御意見をいただきたいと思います。本日はありがとうございました。
(事務局)

